

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード		3-2-4		事業名	事業系ごみリサイクルシステム構築事業
担当	環境局環境事業部事業廃棄物課 植田 211-2927				
全体計画（当初）					
事業内容	ごみ減量・リサイクルの推進を目的に平成12年に策定した「札幌市廃棄物基本計画(ごみプラン21)」に基づいて、事業系ごみの大きな割合を占める紙ごみについてリサイクルを推進する。 現在、資源化ごみあるいは、古紙としてリサイクルされず、焼却されているオフィス系紙ごみについて新たな回収システムを構築する。		<年度別の事業内容>		
			○平成16年度：大規模事業所ごみ減量化対策 ごみ・資源物保管庫新規設置施設への分別・減量化指導 ○平成17年度：事業古紙回収システム推進の研究 古紙業界・団体との連携・協力関係の育成、流通実態調査 ○平成18年度：事業所リサイクル促進モデルの育成 講習会の実施、優良事例集の作成・配布		
事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）		
	○大規模事業所ごみ減量化対策(事業所別診断書作成、立入指導) ○ごみ・資源物保管庫新規設置施設への分別・減量化指導		■事業系古紙回収システムの構築 1.事業古紙回収流通実態調査 市内古紙排出量調査(区別、組成別、業種別等) 引取料金実態調査(逆有償、運搬経費等) オフィスビル排出実態調査(保管場所、駐車場、円滑な受け渡しの阻害要因等) 古紙回収新事業の動向調査(ミックス古紙、機密書類リサイクル等) 2.関係者ワーキングの立ち上げ(テナント、ビル管理会社、古紙業者) 阻害要因対策の検討 実践事業の企画立案 3.事業古紙回収推進に向けた実践事業 古紙リサイクルセミナー(「環境広場さっぽろ」において機密処理リサイクルの講演実施) 事業系古紙回収協力店制度の開始(39事業所)		
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）		
	■札幌式古紙リサイクルシステムの確立 1.関係者ワーキングの継続運営 ・テナント、ビル管理会社、古紙業者に加え、新たにビルオーナーの追加参画による体制の充実 2.リサイクルシステムの確立 古紙回収業者データベースの構築 (古紙回収業者と事業者の取引機会を増やす) →パンフレット・インターネットに掲載 事業系古紙回収協力店の拡大 (市内8区39店舗→47店舗) 異業種店舗による古紙回収モデル事業実施 (民間による多様な回収先を構築) →事業系古紙回収協力店のない南区において実施 3.システムの普及推進 事業系古紙分別啓発パンフレット及びシールの制作・ (市内約1万事業所に配布)		1.関係者ワーキングの充実により、排出側と回収側の両面からの意見を参考とし、事業展開できた。 2.リサイクルシステムの確立として、排出者側と回収側(受け皿)の両側面からの事業を展開できた。		
課題					
1.回収協力店拡充 ・協力店の少ない地域に拠点を充実 2.市街地のビルでの分別排出が進んでいないことへの対応					
19年度以降の方向性・事業の予定					
事業古紙流通実態調査を踏まえた関係者ワーキングにおいて、さらなる古紙リサイクル率の向上のためには「多様な回収メニュー」の組み合わせが必要と意見集約。					
1.焼却処理されている古紙のより一層のリサイクルを見据えた実践事業 ・古紙回収拠点の拡大 ・市街地回収体制整備 ・ビル単位の排出状況改善(古紙排出者の優良事例を把握し、これをもとにモデル事業の実施)					

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

(単位:千円)

施策体系コード		3-2-4				事業名		事業系ごみリサイクルシステム構築事業		
事業費の推移										
項目			16年度		17年度		18年度		計	進捗率(%)
計画	事業費		0		5,000		5,000		10,000	-
	財源内訳	国・道支出金							0	-
		市債							0	-
		その他							0	-
		一般財源	0		5,000		5,000		10,000	-
実績	事業費		0		4,379		3,885		8,264	82.6
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0	-
		市債	0		0		0		0	-
		その他	0		0		0		0	-
		一般財源	0		4,379		3,885		8,264	-
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)										
[全体][16年度][17年度][18年度] 「リサイクルシステムの確立」としては、その内容を再度検討し、システムの確立に必要な古紙の受け皿整備として、古紙回収協力店の拡大と、古紙回収業者以外の事業者拠点となってもらい試みを行った。 「システムの高付加価値化(地域環境ブランド化)」については、実践的な部分として「札幌市古紙スタンダード」を定めてPRした。										
主な施設、サービス等の整備水準										
項目			15年度末 (現状)		16年度末 (実績)		17年度末 (実績)		18年度末 (実績)	18年度末 (目標)
関連予算事業内訳										
予算事業名(小事業名)					経・臨 臨時	枠内外 枠外	16年度	17年度	18年度	計
事業系ごみリサイクルシステム構築事業費								4,379	3,885	8,264
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0
										0